

# 中国と世界

(1)

- 趙紫陽総理の  
カンクン・サミットでの発言

- 南北経済関係と南北交渉

- 中国は永遠に第三世界の一員

- 中米関係

アメリカの「台湾関係法」を評す

台湾向け兵器売却は国際法に違反する

付録 I. 中米上海共同コミュニケ

II. 中米国交樹立共同コミュニケ

- 中ソ国境交渉の障害

- 中越関係の真相

北京周报社出版  
中国国际书店发行  
(北京399信箱)  
1982年第一版  
编号(日)17733——012  
00100  
17—J—1627P

# 中 国 と 世 界

(1)

『北 京 周 報』

対外関係シリーズ

## 中国と世界 （1）

『北京周報』対外関係シリーズ

|    |                       |
|----|-----------------------|
| 編集 | 周 国                   |
| 装丁 | 程 颢                   |
| 出版 | 北京周報社<br>中国北京百万莊路24号  |
| 発行 | 中国国際書店<br>中国北京第399号信箱 |

## はしがき

この小冊子に収録したもののほとんどは、国際問題研究所が北京で出版している季刊誌『国際問題研究』に掲載されたものである。訳載にあたり一部はスペースの都合で少々削除した。



## 目次

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 趙紫陽総理のカンケン・サミット発言   | 7   |
| 国際経済新秩序の確立に関する一般演説  | 7   |
| 穀物生産に関する発言          | 15  |
| 途上国の開発に関する発言        | 17  |
| 南北経済関係と南北交渉         | 21  |
| 中国は永遠に第三世界の一員       | 49  |
| アメリカの「台湾関係法」を評す     | 59  |
| 台湾向け兵器売却は国際法に違反する   | 73  |
| 付録一 中米上海共同コミュニケ     | 101 |
| 付録二 中米外交関係樹立共同コミュニケ | 111 |
| 中ソ国境交渉の障害           | 115 |
| 中越関係の真相             | 153 |

莊去病 張鴻増 潘同文

夏振興

沈乙

李匯川



## 趙紫陽総理のカンクン・サミット発言

# 国際経済新秩序の確立に関する一般演説

(一九八一年十月二十二日)

現在、世界は二つの大きな問題に直面している。ひとつは平和を守ることであり、一つは開発を促進することである。この二つの問題は密接に結びついており、切り離すことはできない。この会議が、国際協力を強化して経済の発展を促す面で、積極的な成果を収めることができるなら、世界平和にも有益な貢献をすることになる。

## 妨害される発展途上国の経済発展

戦後の国際情勢の根本的変化はなにかといえ、数多くの発展途上国が現われたことだとい

えよう。発展途上国はすでに国際政治の舞台では重要な役割を果たす勢力のひとつとなった。だが、それとは全く不相応なのが、国際経済体系に占める発展途上国の地位である。発展途上国の経済発展はひきつづき外的条件という幾重もの壁に妨害されている。ほとんどの発展途上国が深刻な経済困難をかかえている。三十余の最末発展国は、いまだに極度の貧困のうちにある。一次産品輸出を主とする大多数の国は貿易面での条件が日ましに悪化し、国際収支の赤字が日ましに増えている。製品輸出を主とする多くの発展途上国も、保護貿易主義による打撃と債務負担の増加で、経済発展のテンポが落ちていく。石油輸出国ですら、国際市場における技術、貿易、金融などの面の独占支配によって工業化がはかどらず、しかも無尽蔵でもなく再生も不可能な石油資源と引き換えに手に入れた黒字外貨すら、世界的なインフレのために価値を失いつつある。要するに、発展途上国は国によって事情は異なるものの、共通の境遇におかれている。これらの国はかつて長期にわたり帝国主義と植民地主義の支配と収奪を受け、現在はまたひきつづき、不公正かつ不平等な国際経済関係にがんじがらめに縛られている。この歴史

的条件と現実的条件があるからこそ、古い国際経済秩序の改革と、国際経済新秩序の確立が発展途上国共通の強い要求となったのである。この要求は、社会発展の進展に沿うものであり、まったく条理にかなった、正義の要求である。

### 維持しがたい古い秩序

先進諸国も現在、経済の停滞とインフレが同時に存在する苦境にあることはたしかである。先進諸国が直面している経済危機には、先進諸国自体のかかえる深刻な社会的要因がある。かつての先進諸国の繁栄は、後進諸国の貧困の上に築かれたものであった。数多くの発展途上国が独立を獲得し、人民が日ましに目覚めつつある今日、こうした古い国際経済関係はますます維持しがたくなっている。先進諸国がひきつづき、不公正、不平等の姿勢で発展途上国に臨むなら、南北関係の緊張は避けがたいものとなるだろう。発展途上国の経済が順調に成長できないなら、先進諸国の原料供給源、輸出市場は日ましに縮小するにちがいない。したがって、先

進諸国が、自国経済の苦しい事情を理由に、旧い国際経済秩序の改革を拒むことは、理性ある態度とはいえないことになる。先進諸国の先見の明に富む多数の人士は、たとえ自国の利益を守る見地からであっても、国際経済秩序の改革と南北間の関係改善の重要性、緊急性を認識するにいたった。時代の流れにそうこの見解は、発展途上国に歓迎されている。

### 平等互恵の原則をふまえた協力

こうした情勢のもとで、多くの発展途上国と多くの先進諸国は、南北関係の「対立ではなく協力を」という主張をうち出した。

この協力が、不公平、不平等な国際経済関係のたえざる改革を基礎としなければならないことはいふまでもない。また、そうしなければ協力は維持しがたいし、対立は避けがたくなる。したがって、国際経済援助、個人投資、技術移転、貿易、金融はみな、公正で条理にかなった、平等互恵を原則としたものでなければならぬ。発展途上国の主権は尊重されねばなら

ない。内政に干渉し、経済を牛耳ってはならない。発展途上国に依存度を深めさせるのではなく、独自の民族経済を發展させるのに役立つものでなければならぬ。国際経済活動における發展途上国の無権利状態は改められなければならない。もちろん、發展途上国の経済建設は自己の力に頼らなければならず、自国の事情をみはからって必要な国内改革をすすめなければならぬ。しかし、現在、發展途上国のこうした面での努力を阻害しているのはほかでもなく不公平、不平等な国際経済関係なのである。發展途上国の経済建設を比較的スムーズにすすめ、南北間の関係を改善し、世界経済を活性化させるには、こうした旧態依然の国際経済秩序を改めなければならない。

### 中国の原則的立場

国際経済に新秩序を確立するには、全面的かつ全般的な解決策をとるべきであり、また、たゆむことなく、着実に努力する必要がある。現在、多数の發展途上国、とりわけ最未發展諸国

はたしかに、優先的解決を待たれる緊急課題をかかえている。しかし、その解決策は、全面的かつ全般的な解決のための措置であるべきであり、発展途上国の長期的発展の必要に合致したものであるべきであり、また、国際経済新秩序の確立にプラスとなるべきであって、国際経済新秩序確立という根本的目標から離れた限定的措置となつてはならない。

国際経済新秩序確立のため、解決を急がれる問題の早期解決をはかるため、発展途上国はなが年努力し、数多くの条理にかなつた提案をおこなつてきた。中国政府はこれらの提案を真剣に検討した結果、開発のための国際協力はずぎの諸原則にもとづいて行なうことができると考へる。

一、民族経済を發展させ、経済面での独立自主と集団的自力更生をめざす発展途上国のあらゆる努力を積極的に支持する。

二、公正合理と平等互恵の原則にもとづいて既存の国際経済秩序を改革していく。

三、国際経済新秩序確立という根本的目標と發展途上国の当面する緊急課題の解決とを、正

しく、密接に結びつける。

四、発展途上国は自国の実情にあった開発戦略を実施する権利をもつ。先進諸国は発展途上国の国内における改革の実施を、国際経済新秩序確立の前提とすべきではない。

五、世界経済の発展と世界平和に利するため、発展途上国の経済的地位の改善を目的とする南北間の交渉を積極的におしすすめる。

### 国連包括交渉の実質的進展をめざせ

南北経済関係の改善をはかるため、当面の最緊急課題は、国連包括交渉を早期に実現させ、交渉を通じて実質的な進展をもちとることである。これは今会議の招請状に明示されている目標のひとつでもある。現在、多くの国は第三十四回国連総会決議のうち出した包括交渉は年末以前または遅くとも来年はじめに実質的にスタートさせるべきだ、としている。中国はこの主張をだんこ支持するものである。

わたしは、ご在席の各国指導者に、包括交渉の早期実現への共通の願い、包括交渉が積極的な成果をおさめるようベストを尽くすという共通の気持を表明するよう呼びかけたい。

当面の国際政治情勢と経済情勢にひじょうに厳しいものがある。南北間の関係が改善されるかどうかは 覇権主義の侵略・拡張に反対し、世界の平和と安定を守ることと密接な関係がある。われわれの討論することは、重要な経済の課題であるとともに、戦略的意義をもつ重要な政治の課題でもある。世界各国人民は、われわれの会議に大きな期待を寄せている。われわれはその期待に背いてはならない。われわれの会議はかならず成功させなければならない。

中国は各国の政府、人民とともに、国際経済新秩序確立のため、世界平和を守るため、ともに努力するつもりである。

(見出しと中見出しは本誌編集部がつけた)

## 穀物生産に関する発言

(一九八一年十月二十二日)

発展途上国は穀物生産の面でかなり大きな進展を見せ、多くの国が成功の経験を積んでいる。中国の経験によれば、正しい国内政策のほかに、水利、肥料、技術改革などの発展をはかるためのかなりの額の投資が必要である。資金と技術力の不足からいまなお穀物生産の面で大きな困難に直面し、国際的な協力と援助を必要とする発展途上国は少なくない。われわれは、発展途上国の農業生産に役立つすべての国際的措置、とくに緊急食糧援助と食糧安全保障備蓄をふくむ、最末発展国に対する支援に賛成する。農業開発基金は農業の国際的な開発、協力の面で比較的公正と平等の原則が貫かれているので、とくに普及、奨励すべき価値がある、と考える。